

日本クリスチャン・アシュラム連盟

イエスは 主なり



日本アシュラム

アシュラムとはスタンレー・ジョーンズ師がインドの退修方式を取り入れて創始されたキリスト教の新しい祈禱運動である。

開心・静聴・充滿・献身・奉仕 '94 7.1 92



イエスと祈禱生活

金 徳 成

「朝はやく、夜の明けるよほど前に、イエスは起きて寂しい所へ出て行き、そこで祈っておられた。」(マルコによる福音書 1 の35)

イエス様は早起きをなさいました。そして寂しい所に出て行かれて祈りをされました。人間に出会う前に先ず神に出会うことをされました。一日の生活が祈りから始まったのです。マルコ 6 : 46には「イエスは群衆に別れてから、祈るために山へ退かれた」と書かれています。イエス様は朝早く起き祈り、昼には多くの人を教え、病を癒し、弟子達の帰った後は、自分一人残って祈りをなされたのであります。

これらのみ言葉を読む時にイエス様は、祈りと仕事を共になされたことを知ります。朝早くお祈りを一生懸命になさり、夜も一生懸命に祈られたのであります。祈りと仕事は二つの輪だと思えます。

私たちは祈りを学び、仕事を学びこの二つを共に学んで行く時に敬虔な信仰生活をする事ができます。そして四福音書を読む時にイエス様は重要な仕事を始める時は先ず祈りをもって準備をなされたことを知るのであります。

ルカによる福音書 6 : 12には「イエスは祈るために山へ行き、夜を徹して神に祈られた」とあります。イエス様は十二弟子を選ぶ時にも夜を徹して祈られたのです。何か新しい計画、新しい運動、新しい仕事を始める前に重要なのは先ず祈る事です。

イエス様は多忙な生活においては、常に上からの力の供給を受けるために、つとめて祈りの時を持たれたのです。主はしばしば山に野に人を避けて祈られたことよってみ力の発電所となられたのです。

聖キプリアンの言葉の通りに、「彼は罪がなくてもこの様に祈りに力をいれたのであるが、ましてや罪のある私たちはどんなにか祈りに力を注がねばならない」のではないのでしょうか。昔も今も祈りなしに聖潔で敬虔で高貴な信仰生活をなされた方は一人も居ません。昔から祈りの人は皆早朝の静かな時を愛しました。私の尊敬する韓国の有名な工バネリスト金益斗牧師は朝3時に起き、冷水摩擦の後2時間も、3時間も祈っておられたのを私は見ました。アシュラムの創始者スタンレー・ジョーンズ師の祈りも福岡のアシュラムで直接見る事ができました。アシュラムの精神は神のみ言葉を静かに聴くことであります。

ローランド・ビル師は「祈りは新たに生まれた靈魂の呼吸である。これがなければクリスチャンとしての命は保てない」と言いました。

大伝道者ピリー・グラハム師は、「あなたが引退される時に、後継者たちに何を最も重要な事として言い残しますか」との問に対して、「それは①に祈り、②に祈り、③に祈りです」と答えたとのこと。

『もし私が毎朝2時間を祈りに費やさなかったならばサタンは、その日1日私に勝つであろう。私は実に多くの仕事を持っているので、どうしても毎日3時間を祈りに用いなければ、それを成しとげることはできない。もし1日でも祈りを怠ったならば、信仰の火は少なからず失われるであろう。よく祈った人は、よく学んだ人である』(マルチン・ルター)。

神との静かな交わりと密室の祈りと、特別な祈りがなくては、その働きは成功しない。アーメン



スタンレー
ジョーンズ
コーナー

祈りの祈るか(3)

二、上に述べた方法がとれない場合は、あなたの内なる黙想と言う聖所に退きなさい。普通は静穏がかき乱されるような状態の只中にあつても、扉を閉じることを学びなさい。

そうするなら肉体的・精神的なくつろぎが得られるでしょう。緊張している自意識には何も銘記できないと言ふことは心理学的な事実です。くつろぎは感受性をもつために必要です。それはあなたの身体ができるだけ邪魔にならない状態であるべきだと言ふ意味です。気持ちよくしていいが、だからではいけません。あなたが祈りの時間を始めるときに、身体に言いなさい。「私の身体よ、お前は神が私において下さる乗物になれるのだ。よく受け入れなさい」と。それから各器官に、「私の脳よ、お前は神のみにいる。さあ行つて、聴きなさい。神は語られ、見透かされ、癒される。受けなさい、受けなさい」と。また目に向かって、「私の目よ、心を乱す世の中を見ているのは嫌に

て、目を閉じなさい。そしてお前が、今お目にかかろうとしているお方の他何も見ないようにしなさい。彼は私の目に触れられる。すると目は休ませられ、静まり、正しく見え、癒される」と。また神経に向かって、「神経よ、私と言ふ存在の情報部門であるお前は、混乱した世の中に生きて、緊張し、引き裂かれているが、私は今からお前をよ

い知らせを告げる仕事に就かせよう。お前の主なる神がおいでになる。静かな、安らかな、頼みとなり、救いとなるよい知らせをもつてきなさい。お前のすべての細胞を開き、神の癒しと平静と回復力を受けなさい。受けよ、受けよ、受けよ」と。
あなたの性生活に言いなさい。「私の創造的部分よ。私はお前を創り主なる神に委ねる。お前の生殖作用の通常の表現が否定されるときも、私はお前の力を他の形で昇華させることを知っている。芸術、詩歌、音楽、新しい望みを創り出し、新しい熱情、新しい人生に向かわせる。つまり、別のレベルで創造的になれる。だから私はお前を神のみ手におまかせする。神は潔め、向きを正して下さい」と。
そして身体全体に向かって、「神は身体

すべての病を癒し、すべての部分を統合して、全体を協力して働く一体として下さる。すべての扉を開きなさい。神に鍵を全部渡しなさい」と言いなさい。
三、それから自分の魂に言いなさい。「私の魂よ、お前は今、神の謁見室に居るのだ。お前は主にお会いする。主は来られる。主は来られつつある。お前の心の奥底にある防壁をすべて打ち倒して、主を迎えなさい。主は正に今ここに居られるのだから」と。

四、祈りの本質は神との正しい関係の中に見出されることを覚えなさい。あのこと、このことをしてもらう為ではありません。神が与えて下さるようにと急いで物事をみ前にもち出さないように。当面はそれを放棄しなさい。

主が来られる時、充分に主のみに明け渡していないあなたの生活の何事かを、びたりと指摘して頂こう。主のみ前において、何か自分が傷つき易く、多少でも包み隠しをしていることがあるなら、それを正直に、率直にもち出して目に止めなさい。主のみに異なる意の表情を見たら、それを思い止まりなさい。そうしなければ、そのことが妨げとなり、あなたの祈りの交わりを塞ぐでしょう。

五、若し何も問題がないならば、偽りの罪意識をつくり出さないように。わたしたちはこの偽りの罪をつくり出すことを謙り下りと思いますが、そ

ではありません。神は狭量ではありません。神は他人のあらさがしをしてはもらえません。神はあなたが本質的に健全であるかどうかを知り、あなたを正しい方向へと向けようと欲していられるのです。想像上の罪のために自分には有罪だという意識をもたないように。
六、たとえば、あなたが祈っているとき、心がさまようことを考えてみましょう。それを思い煩わないのです。ただそのさまよう心を受入れて、それにあなただを主に導き返させればよいのです。
七、しかし、そのさまよう思いが必ずしも罪が全くないものではないとすれば、それはあるいは実際は不純なものかも知れません。

アシュラム生活の最良の友
アパ・ル・ム

海老沢 宣道 編集

(年6回刊行の日々の糧)
国際的、超教派的、靈的な読物
価250円、〒90円、年2,040円

申込先 ☎256 小田原市国府津3-11
振替口座 (東京) 1-193834 アパ・ル・ム
電話番号 0465-48-2010

日本語版は創刊以来43年続行中

S・ジョーンズ物語(一)

―祈りと伝道の人―

土山 牧羔

「わたしたちは、もっぱら祈りと御言のご用に当たることにならう」(使徒行伝 第六章四節)。

スタンレー・ジョーンズ先生は米国メソジスト教会の伝道者でしたが、メソジスト教会では監督に選挙されることは最大の名誉です。ジョーンズ先生も監督の候補者にあげられました。けれど「神は私を教会の管理者になるよう召されたのではない。私は伝道者になるように召命を受けたのだ」と断わられました。ここにジョーンズ先生の面目がよく現われています。福音を宣べ伝え、人々をキリストに導き、主にある新しい人につくり変える神のみに奉仕することに自分の一生をかけているのだ、というのです。それに比べると私なんかは教育家と伝道者の二足のわらじを履いて来た者です。ジョーンズ先生は決して二足のわらじを履きませんでした。伝道一本槍で行かれたのです。勿論、著述のために、随分時間を使われました。しかしそれは、小説や詩ではなく、専ら伝道的文章を書かれたのです。三十冊程のすべてが伝道のための著作です。

ジョーンズ先生は伝道者でしたが、それは或教会だけの牧会者ではなく、世界中を巡回する伝道者として生涯を

費やされたのです。先生の説教はすばらしいものでした。単純な、明確な英語で誰にも分かるように話されましたが、先生の書かれるものが達意の文であるように、話し言葉も含蓄のある素晴らしい美しい英語ですので、私は通訳のお世話を二度ばかりさせて頂きましたが、先生の文学的な言葉を翻訳するのに、しばしば苦勞しました。

けれども、美しい表現で説教されますから、非常に人々に訴えますし、感銘を与え、心を動かしました。そして人々を決心させ、回心・献身・奉仕へと、かり出して行くのでした。

そのようにして、先生の名声があがつて参りますから、大衆伝道者として非常に成功されたのです。

戦前、ビリー・グラハムが大衆説教者として出て来る前においては、米国における第一級の巡回伝道者・大衆伝道者でいらっしやいました。伝道者として、大説教をし、それらの聴衆の中から多くの決心者を招き、回心させられたのであります。

先生はいわゆる大衆的な、ユーモアを沢山まじえた、どちらかと言うと漫才的な要素をもった説教家のタイプではなかった。非常にレベルの高い説教をされました。けれども分かり易い話でした。だから一般の庶民階級だけではなく、知識階級をも対象に含めておられました。これはインドに行かれた先生が専ら知識階級の伝道に努められたことに表わされています。お話に例話が非常に多く引用されるのですが、それは、まあ新聞の三面記事の切り抜きのようなものではなく、非常に格調の高い例話であって、それによって多くの知識階級の人々にアッピールできたのであります。

先生の伝道は教養を高めるような話をすると言ったところにとどまらないで、一歩すすんで、決心者を募り回心に導くことを目ざしていました。この決心者をすぐ回心にまで導くことが先生の伝道上のモットーでありました。

(日本アシュラム副理事長)

◇アシュラムのメモランダム

〈ア〉 明け渡し、主に一切を委ねること。

〈シ〉 静かに御声に聴き従うこと。

〈ユ〉 豊かに、御霊の充滿を受けること。

〈ラ〉 ラビ(教師)は主イエスのみとすること。

〈ハ〉 報いを望まず、御国に仕えること。

以上の五つを祈りと瞑想の中で体験して下さい。

御参考までに創案して見ました。皆さんも何か良いヒントをお持ちでしたら、発表して下さい。(海老澤)

◆関東アシュラムのご案内

【日時】九月十三日(火)・十五日(休)

【会場】奥多摩・福音の家

【主題】「イエスは主なり」

【助言者】金徳成師(在日大韓大阪教会名譽牧師・関西アシュラム委員)

【会費】申込金三〇〇〇円 参加費一五〇〇〇円

【申込先】東京都目黒区中央町1-21-10 碑文谷教会・大石嗣郎

大いにご参加を期待しています。

■譲られたし

S・ジョーンズ「神の然り」海老澤訳。

同 「人生苦とキリスト」

金井訳・新教出版社。

※本代と送料をお支払いします。連盟・大石。

▼連盟の振替口座番号変更▲

〇〇一〇〇一―四五五八

日本クリスチャン・アシュラム連盟

新刊 聖ヨハネによる福音書
―そのインド人への証し―
A・ダヤ・プラカシュ・タイタス著
海老沢宣道・飯島庸江 共訳

スタンレー・ジョーンズ師はインド人にはインド人の如き心を以て、イエスは宇宙的な主であると説いた。その志を継いでイエスこそインド東洋思想の完成者であると著者はこのヨハネによる福音書の解説を以て力説している。東洋人必読の書。

1992年1月20日連盟発行 定価1,200円

編集人 白川 鄭二
発行人 大石 嗣郎
定価 一部 60円 千 80円

平和のための祈り

全地の神にして、人類家族の父よ。我らの唯一の望みであるあなたに向かつて主イエス・キリスト、平和の君のみ名によつて祈ります。世界が破壊と死に向かつて狂気の殺戮をするのをくい止める力がありませぬ。我々の愚かさをお赦し下さい。

正義、公正、一致のための我々の力を全人類の間に糾合する間、平和があるように、あなたの聖なる介入をお願いいたします。

イエスは主なり、アーメン。

(世界ワリスチャン・アシュラム連盟)

※第七回バルナバ・アシュラム報告

五月三日〜五日に八王子在のラサール研修所で助言者として羽鳥 明師を迎え個室を主体の密室化したアシュラムとして開催された。

羽鳥師は四十年の宣教の結晶として「復活と、その事実、その力、その望み」について九十分の講義を四回に亘つて説得され、その迫力と博学の内容は参加者一同を魅了した。特にコリント十章のパウロの復活論を三時間静聴し学び得たことは信仰生活の転機となった。

ヨハネ二十章の復活の物語りについては肉の目から霊の眼へ、見ることにから視ることへ、知ることから識ることへ、聞くことから聴くことへ。静聴し、冥想し、霊想を重ね、特に主の復活は肉の目で見ても判らなかつたが、霊の眼を開けて視て信じていることであると知った。恵みの内に来年を約して散会した。

(報告者・石神 勇)



▼東北アシュラムの報告

福島・飯坂・郡山・浪江・角田・天童の六教会から十六名が参加された。来年、十二回目のアシュラムを開くことを決議した。

※第二十八回関西アシュラム予告

*日時 一九九四年十月九日(日)〜十日(月・祝)

*場所 兵庫県三田市・関西学院千刈キャンプ場

*定員 七十名

*費用 八千円(一泊三食・含登録費)

*主題 「キリストへの明け渡し」

ガラテヤ二・二十

*主助言者 杉田常夫・金徳成・土山 牧羔 他。

*申込先 二六三 西宮市川添町九三 日本キリスト教団香櫨園教会。

関西アシュラム事務局

電話(〇七九八)三三二四〇四三

FAX(〇七九八)二六二六二五四

個人消息

○海老澤宣道師 4・22 群馬県富岡市文化功労者顕彰碑四基の除幕式に招かれ参列。中一基は百年前甘楽教会創立者の一人、故斎藤寿雄医師の功労により建てられ、故人の経歴をよく知る者として、黒御影石に海老澤師保存の故人写真のレリーフと同師の聖句揮毫(ヨハネ十二・二十四)が彫刻されている。

5・11〜16 韓国信徒連盟の招きでソウル市訪問、朝祷会五月例会で奨励。

日韓対照アパ・ルーム誌刊行の打ち合わせ、韓国アシュラム委員長ジョンフン・カーン氏と相互応援の相談をされた。

15日永楽教会の第二回目礼拝に出

席、二千五百名の会衆に紹介され、後

日本語使用の二集會に話し、午後二時

半から日本人教会(吉田耕三師)の礼

拝で説教、何れも歓迎を受けた。

○芦名直道師 再手術のため福島病院に入院中。ご回復を祈ります。

○大石嗣郎師 第九回国際クリスチャン・アシュラム(スウェーデン・インチェピング)に参加者のお世話で多忙。同参加者の団長は土山牧羔師。

訂正

91号三頁の賛助金報告中、石井勇とあるのを石神 勇と訂正いたします。(編集委員)

アシュラムの原則と実際

—第3版—

海老沢 宣道 著
新書版 52頁 価300円 790円

発行所 日本クリスチャン・アシュラム連盟
申込先 東京都目黒区中央町 1-21-10 大石 嗣郎
振替口座 (東京)00100-1-4558番

D.P.・タイタス

御国を来らせ給え

訳者 植村 俊雄
(価300円 790円)

インド途上のキリスト

1986年10月改定版
著者 E.S.・ジョーンズ
新訳者 渕江 淳一
(特価1,500円と送料310円)